

神栖市の多文化共生のための 「やさしい日本語」 意識調査と推進に向けた提案

2019年4月20日(土)

於：神栖市保健・福祉会館 2階 研修室

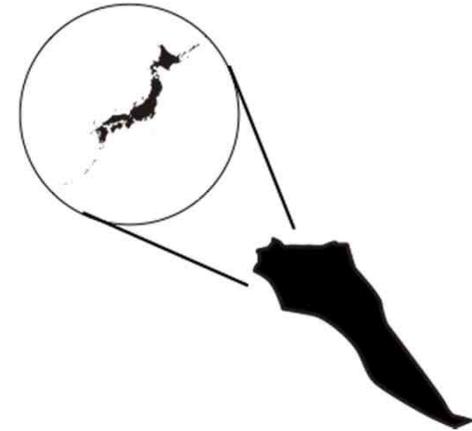
伊藤秀明・山田野絵・片山奈緒美
中嶋さくら・小野正樹

神栖市は日本の縮図!?

日本の人口：1億2664万3000人（2018年10月現在）

外国人の人口：263万7251人（2018年6月現在）

日本は約2.1%



神栖市の人口：9万5185人（2018年3月現在）

外国人住民：2405人（2018年1月現在）

神栖市は約2.5%

2019年4月 新たな在留資格の創設→外国人住民がさらに増加

外国人に選ばれるまちづくりも必要
どのようなまちづくりを行なっていくべきか

神栖市 市民憲章

築こう 伝統文化と国際交流

先人から受け継いだ貴重な遺産や文化を後世に伝えながら、市民の手による新たな文化の創出と教養を高めます。また外国との異なる言葉や文化を学び、互いを理解し、協力し合う国際交流を築き、魅力と個性あふれるまちにします。

研究の背景

2014年『神栖市国際化推進計画』

多言語の災害時マニュアルの作成
外国人生徒の保護者との面談時の通訳派遣 など

30を超える施策を実施

2018年『第二次神栖市国際化推進計画』

1. 多文化共生のまちづくり
2. グローバルな人材の育成
3. 国際交流団体への支援等
4. 東京²⁰²⁰オリンピック・パラリンピック競技大会およびインバウンドを見据えた訪日外国人への支援

神栖市国際化推進計画

1. 多文化共生のまちづくり

(わかりやすい情報提供、生活支援、外国人の地域参画の支援 etc.)

2. 国際感覚豊かな人材の育成

(国際理解、コミュニケーション能力向上、ボランティア育成 etc.)

3. 国際交流活動の推進

(友好都市との交流、国際交流活動の支援、国際協力の推進 etc.)

4. 国際交流団体の支援等

(国際交流団体の支援、国・県などの関連団体と連携 etc.)

神栖市の既存の取り組み

- ・ 多言語による生活・防災などの情報提供
- ・ 学校への日本語指導員・通訳の派遣
- ・ 外国人のための日本語教室の周知

→ **すでに多文化共生社会を目指したまちづくり**
(でも、本当はどんな情報が欲しい、話したいんだろう・・・)

神栖市の次の課題

- 多言語対応＝外国人支援 から一歩抜け出す
- 外国人居住者と日本人居住者で会話が生まれる **ツール**が必要

互いを理解し、協力し合う国際交流



やさしい日本語

庵（2016）

1. 補償教育として
2. 地域社会の共通言語として
3. 地域型初級として

“「日本語のわかりやすさ」は、日本語母語話者が事前に規定するものではなく、外国人が自ら述べたい内容を日本語で伝えようとするときに、日本語母語話者との相互作用の中で形成されていくものである。”（p.164）

研究の目的

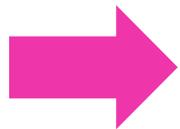
調査 1

外国人住民を取り巻く関係団体へのインタビュー

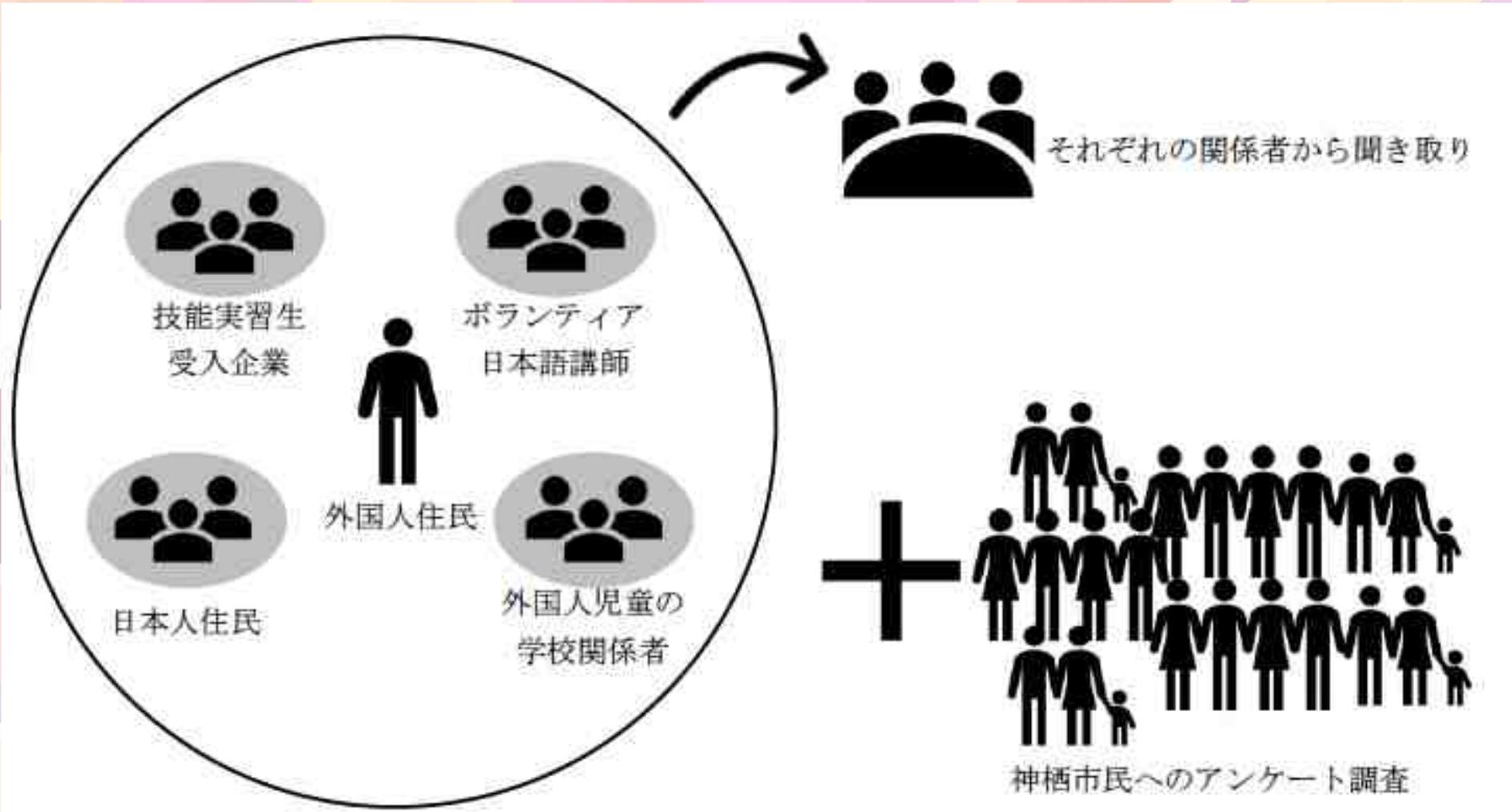
調査 2

「やさしい日本語」や多文化共生社会に対する

Web アンケート



神栖市の日本人住民と外国人住民の関係から多文化共生社会の実現に必要な方策を考察する。



インタビュー調査

2018年6月～10月 市内にて実施、各回1時間程度

- ①技能実習生受け入れ企業（水産加工）
- ②KIFA日本語ボランティア講師
- ③日本人住民
- ④外国人住民
- ⑤神栖市役所政策企画課
- ⑥日本語指導センター

多文化共生社会を構築するための課題をあぶり出す

(1) 言葉

受け入れ企業では一定レベルの日本語が必要
実習生自身の日本語力・習得意欲が低い
→独自のコミュニケーション方法
(最低限の日本語の語彙と中国語)

学校に通う外国人の子どもたちの増加・多様化
→子どもたちへの日本語・学習支援の必要性
外国人家庭への支援
(おたよりの翻訳、学校行事等の説明)

(2) 日本人と外国人の交流・相互理解

日本人住民の関心の低さ、きっかけの不足

- ・ 外国人住民の存在には気づいている
- ・ 同じ「住民」としての交流の必要性をあまり感じていない
- ・ 日本人と外国人のコミュニティの分断

日本人コミュニティに溶け込めない外国人住民

- ・ PTA等で他の保護者と話ができない
- ・ 日本人の友だちをつくりにくい
- ・ 地域や教育についての情報不足

(3) 日本語支援態勢

日本語教室

- ・ ボランティアの不足、高齢化
- ・ ボランティアの質の確保
- ・ 外国人が利用しにくい条件（時間、交通）

日本語支援センター

- ・ マンパワー不足、対応言語の多様化

(4) 行政の施策

- ・ 多言語化（町内放送、教育情報）、相談窓口
- ・ 役所内やKIFAとの連携、継続的な交流促進

アンケート調査

「やさしい日本語」や多文化共生社会に対する

Webアンケート

期間：2018年9月～3月

方法：Web上のアンケートを実施
地区回覧および神栖市のHPで
呼びかけ

内容：選択式、記述式計32項目

神栖市多文化コミュニケーションアンケート
A Survey on Intercultural Communication in Kamisu City
神栖市多文化交流问卷调查
Bảng khảo sát về giao tiếp đa văn hóa ở thành phố Kamisu
แบบสอบถามเกี่ยวกับการสื่อสารระหว่างวัฒนธรรมในเขตคะมิสุ

調査・Investigation・調査・Điều tra・การสำรวจ

日本語
本アンケートは筑波大学と神栖市の連携によるまちづくり推進事業の一環として
行っております。アンケートは全部で5分～10分程度です。
今後の研究や、神栖市のまちづくりに活用させていただきますので、ぜひご協力
をよろしくお願いいたします。
<http://pr1.work/0/kamisu-machizukuri>

ENGLISH
This survey is carried out by the joint efforts of the University of Tsukuba and Kamisu City
as part of the project for the promotion of community planning and urban development.
Completing the form should only take about 5 to 10 minutes. Your feedback will benefit
future research and will be implemented by the Urban and Community Planning Depart-
ment of Kamisu City.
<http://pr1.work/1/kamisu-machizukuri>

中文
本问卷调查是筑波大学与神栖市联合进行的城市建设推进事业而进行的。问卷调查为
5~10分钟。请允许我们将调查结果用于今后的研究和神栖市的城市建设。敬请合作。
<http://pr1.work/2/kamisu-machizukuri>

NGƯỜI VIỆT NAM
Cuộc khảo sát này là một phần trong dự án xúc tiến phát triển đô thị dưới sự liên kết thực
hiện của Trường Đại học Tsukuba và Thành phố Kamisu. Bảng khảo sát này chỉ mất của bạn
từ 5 - 10 phút. Kết quả khảo sát sẽ được sử dụng trong các nghiên cứu và các hoạt động xúc
tiến phát triển đô thị ở thành phố Kamisu. Rất mong nhận được sự hợp tác của quý vị.
<http://pr1.work/3/kamisu-machizukuri>

ภาษาไทย
แบบสอบถามฉบับนี้จัดทำขึ้นโดยหน่วยงานวิจัยและพัฒนา
ซึ่งเป็นความร่วมมือระหว่างมหาวิทยาลัย筑波และเทศบาลเมืองคะมิสุ โดยใช้เวลาในการทำประมาณ 5~10 นาที
ข้อมูลที่ได้จากแบบสอบถามจะถูกนำไปใช้ในการวิจัย และโครงการพัฒนาเมืองคะมิสุ
จึงขอความร่วมมือนิดหน่อยจากท่านด้วย
<http://pr1.work/4/kamisu-machizukuri>

本件に関するお問い合わせは、筑波大学 人文社会系 伊藤秀明までご連絡ください。
ito.hideaki.gb@u.tsukuba.ac.jp (★を@に変えてください。)



アンケート内容：

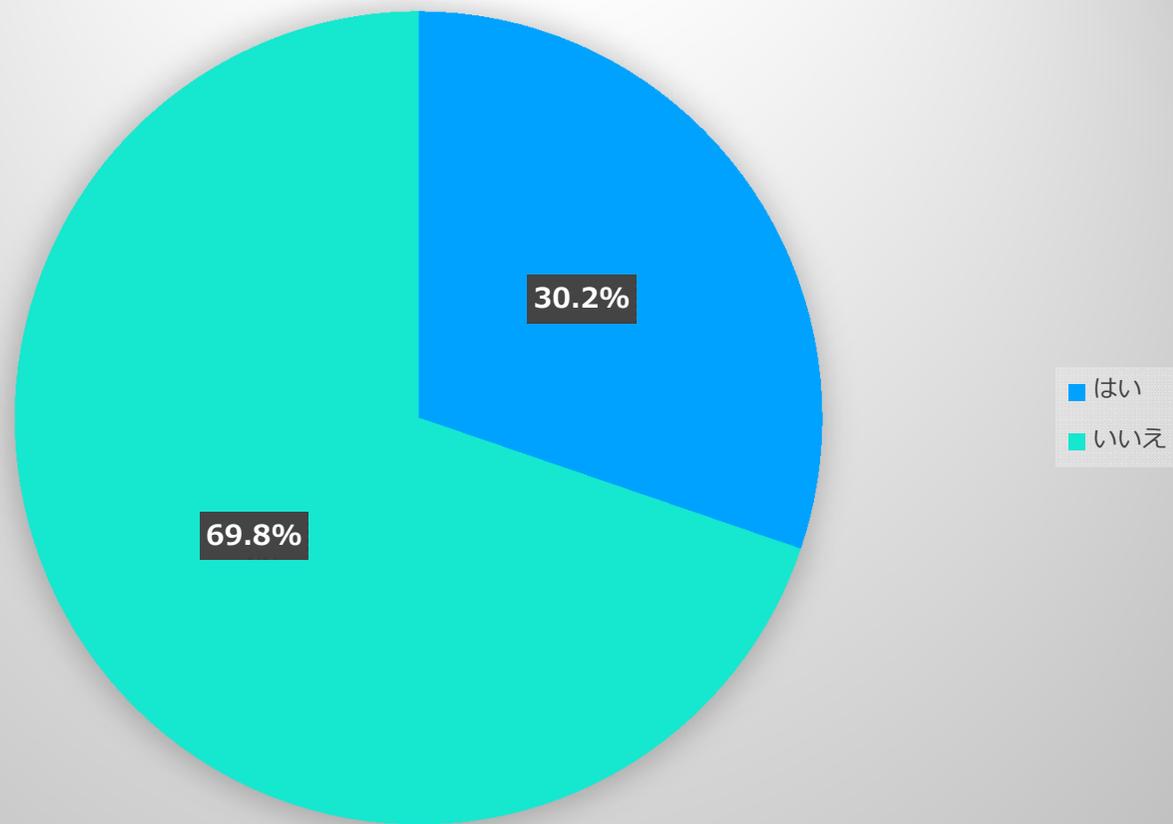
- プロフィール（国籍や世代、在住歴など）
- 日本人／外国人との関係性や意識
- 「やさしい日本語」の認知度
- 日本人住民と外国人住民の関係に必要なことや課題

回収：

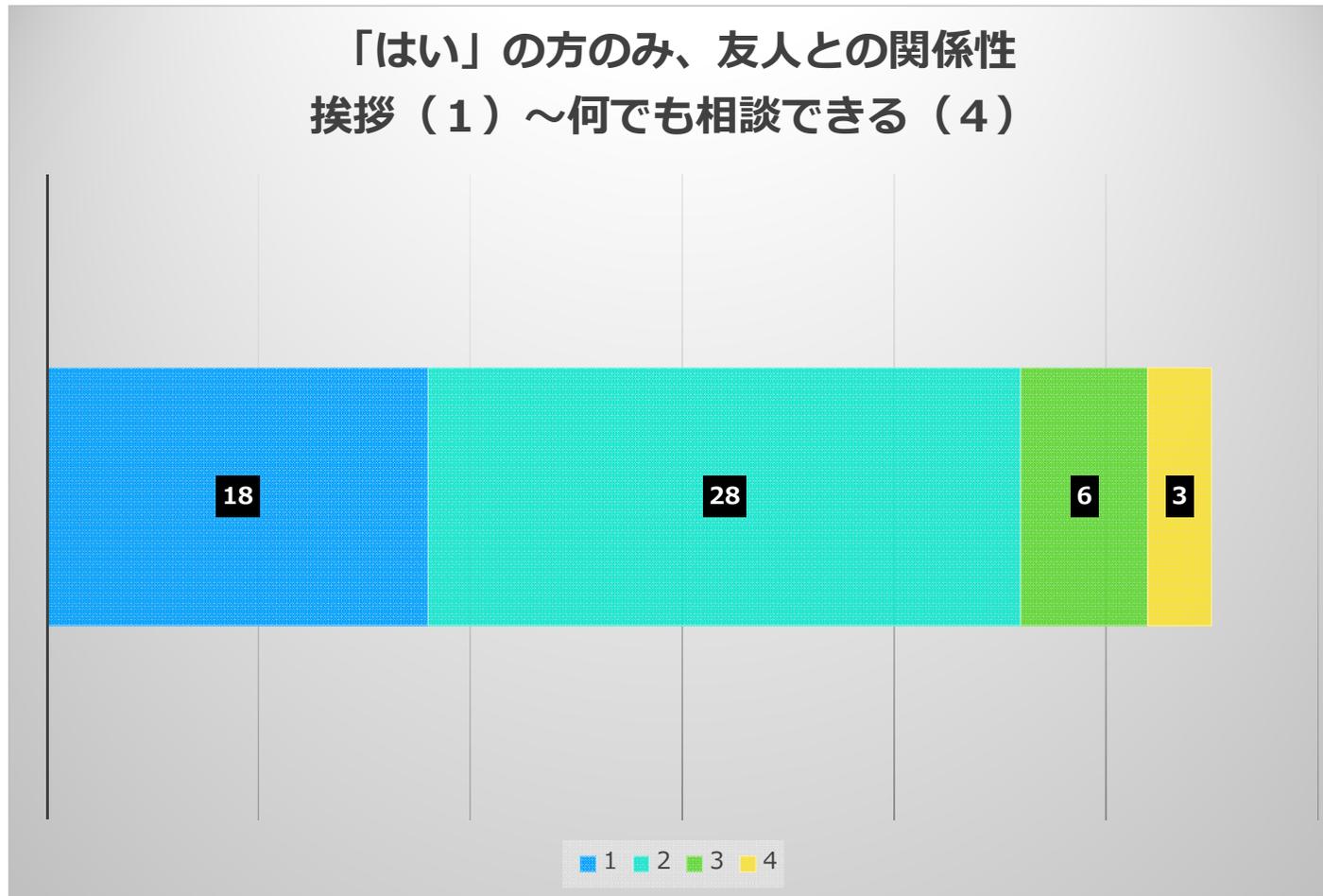
- 日本人住民 182 回答
- 外国人住民 6 回答

今回の報告では、日本人住民の回答だけを報告

外国人の友人・知人はいますか。

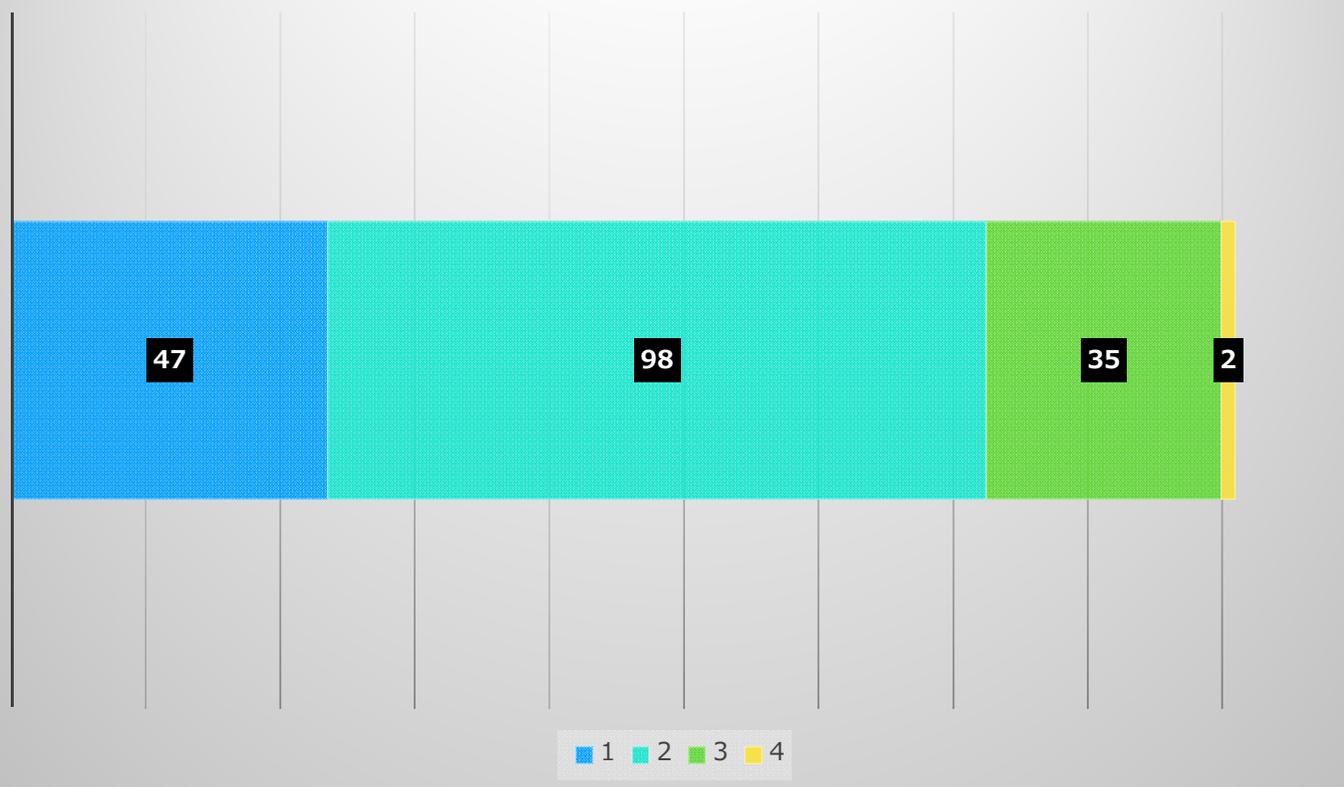


「はい」の方のみ、友人との関係性
挨拶（１）～何でも相談できる（４）

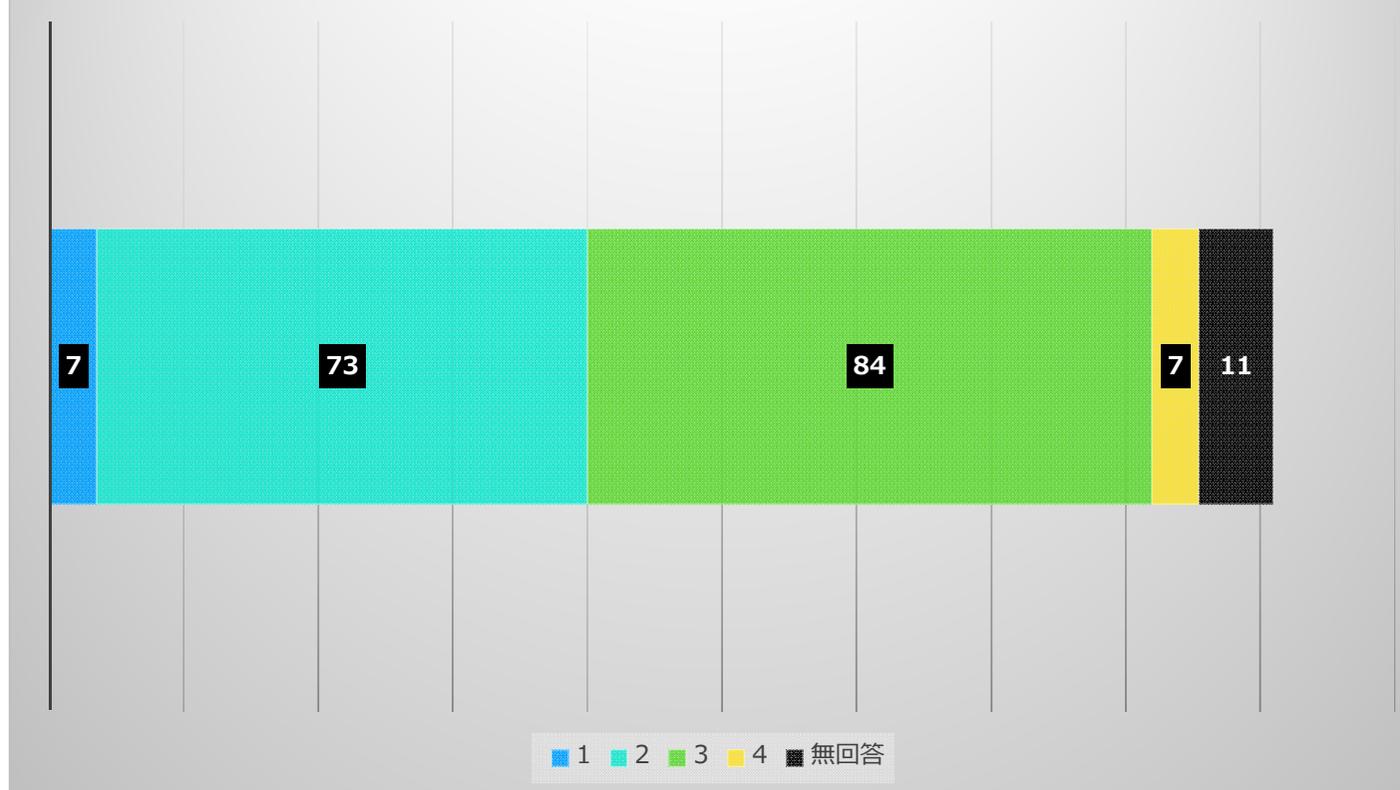


日本人住民と外国人住民との関係性

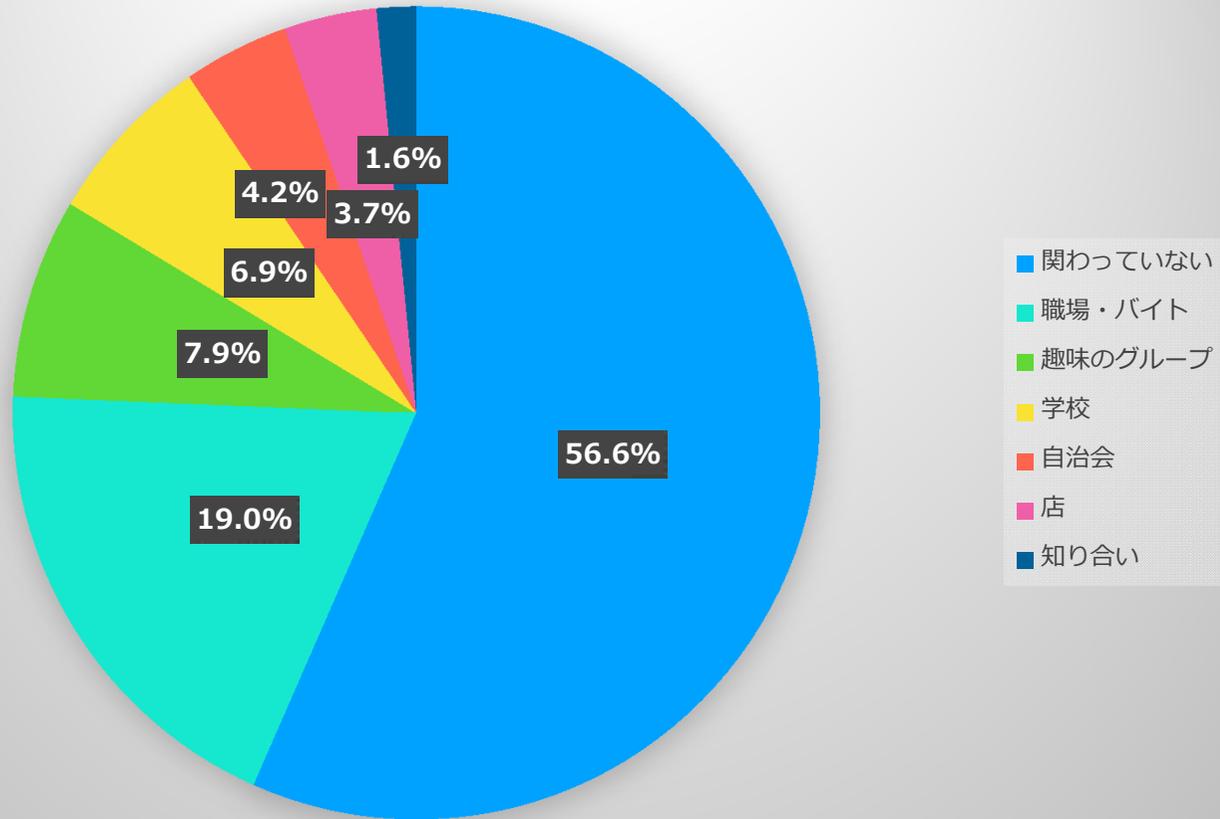
まったく関わっていない（1）～積極的に関わっている（4）



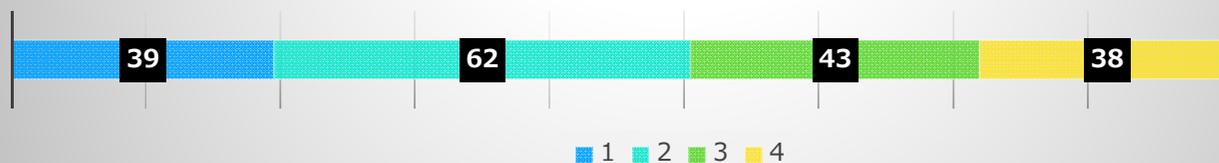
日本人住民と外国人住民との関係 関係が悪い（1）～関係がいい（4）



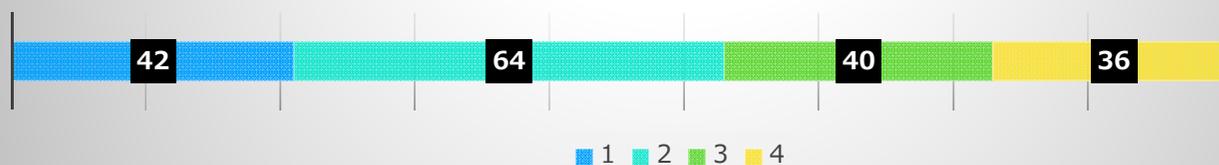
外国人住民とどこで関わっているか



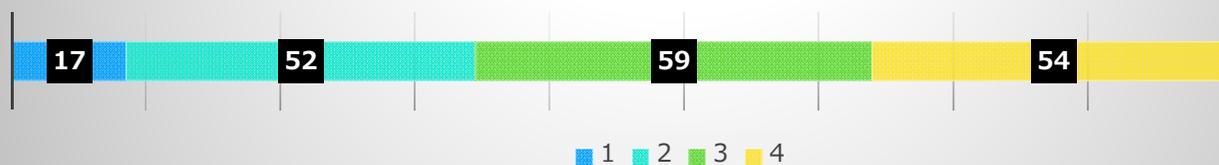
外国人住民の母語をもっと学ぶべき そう思わない(1)～そう思う(4)



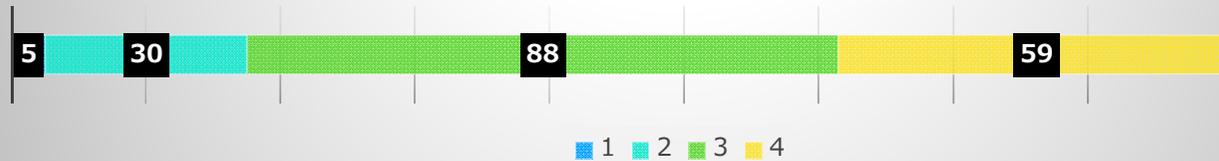
英語だけではなくいろいろな言語を学ぶべき そう思わない(1)～そう思う(4)



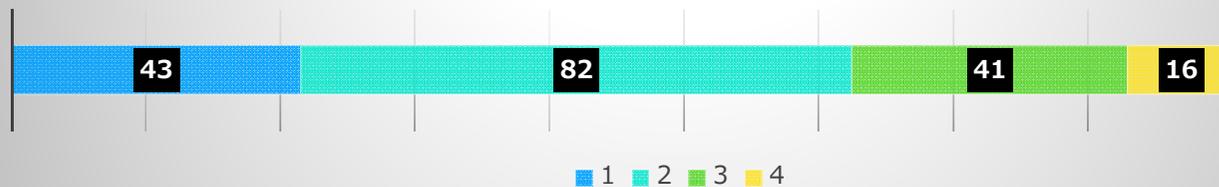
もっと外国人住民の文化・習慣を学ぶべき そう思わない(1)～そう思う(4)



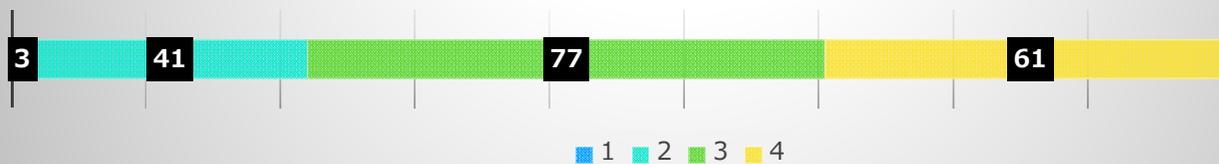
外国人住民は日本語をもっと学ぶべき
そう思わない(1)～そう思う(4)



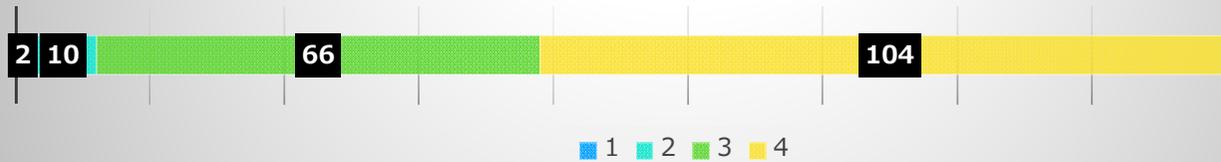
外国人住民は日本語だけではなくいろいろな言語を学ぶべき
そう思わない(1)～そう思う(4)



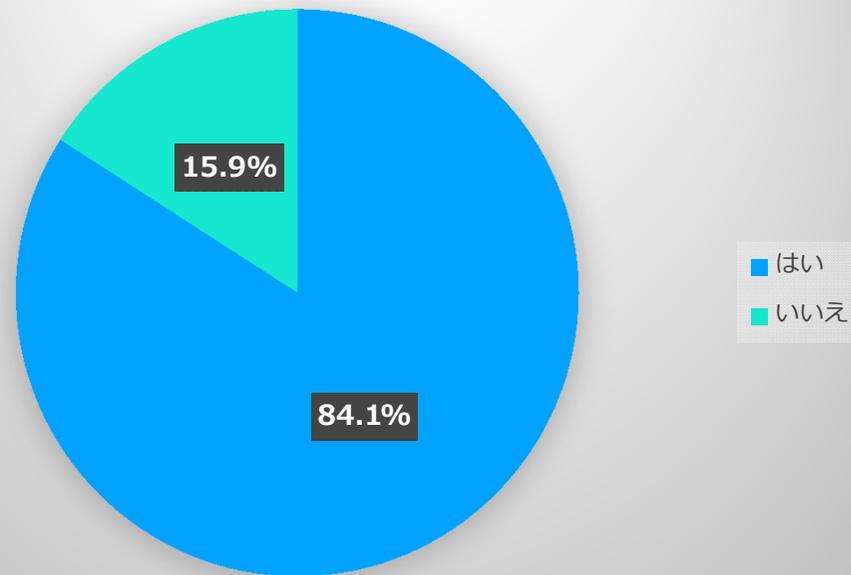
外国人住民はもっと日本の文化・習慣を学ぶべき
そう思わない(1)～そう思う(4)



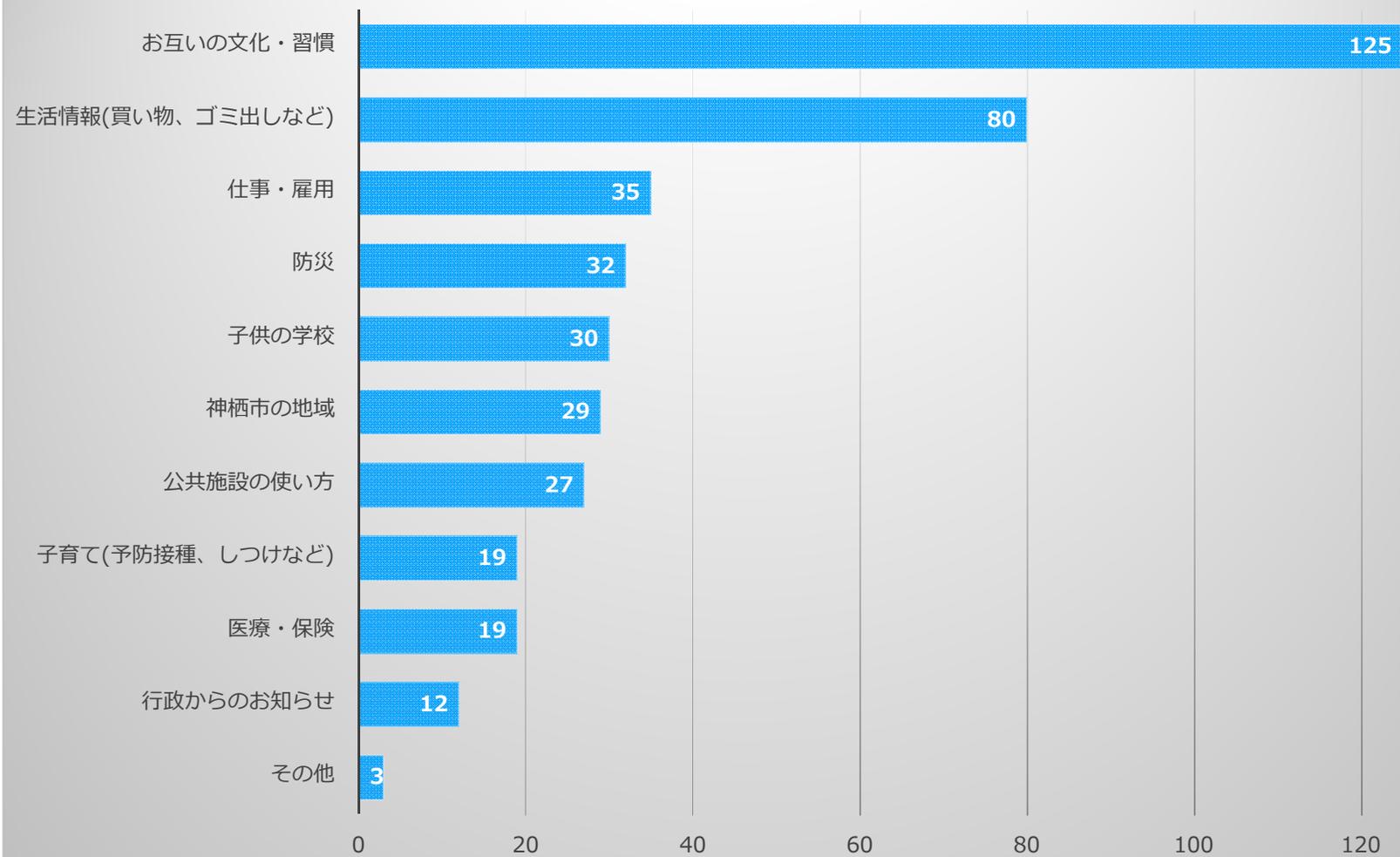
日本人住民/外国人住民に関わらず支え合うべき そう思わない(1)~そう思う(4)



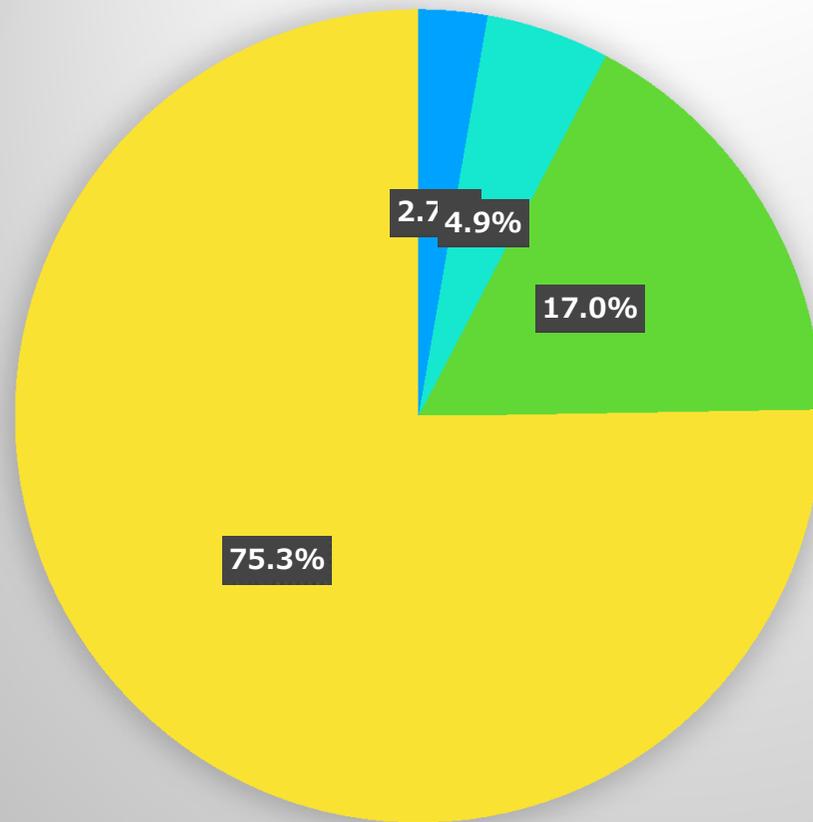
日本語だけで話せるとしたら、話したいですか。



「はい」の方のみ、どんなことを話したいですか。

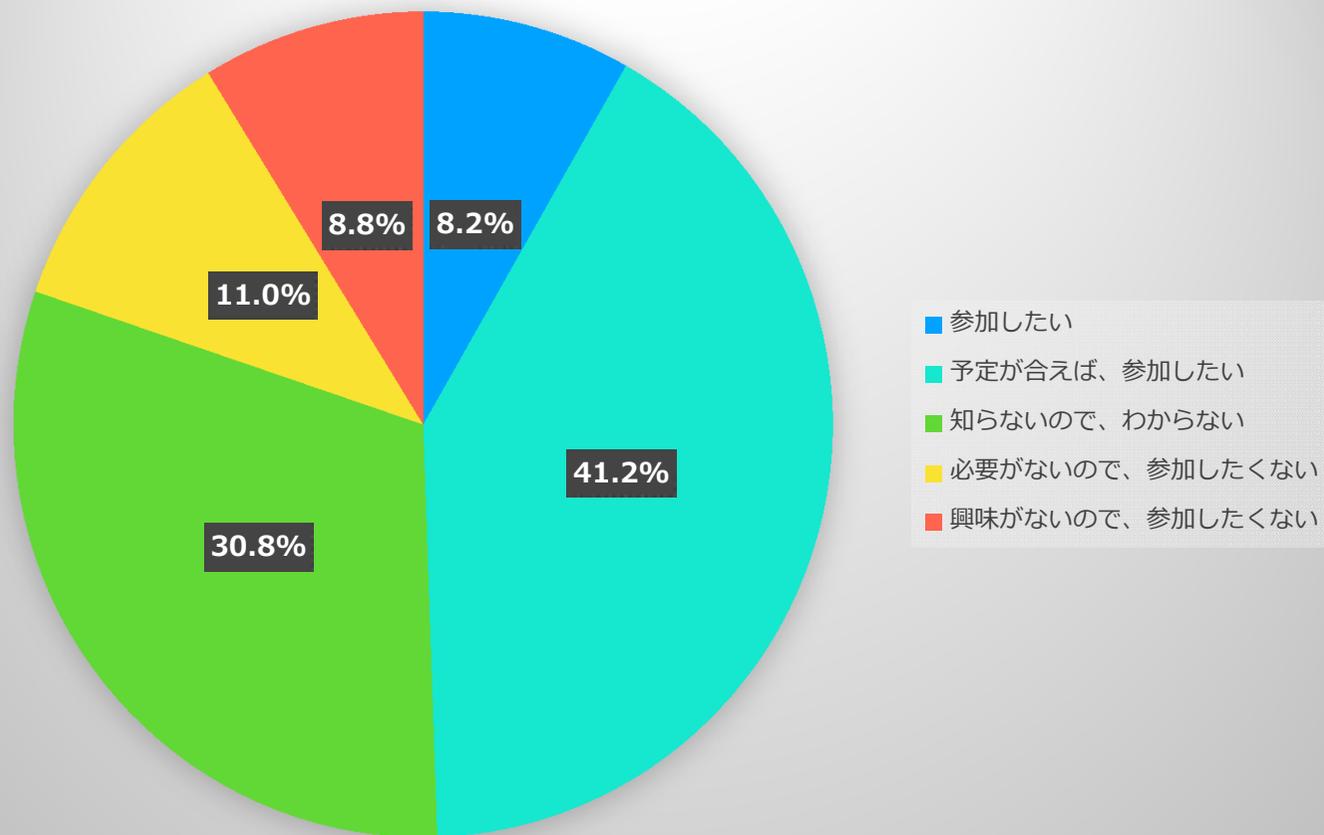


「やさしい日本語」を知っていますか。



- 知っていて、意識的に使用している
- 知っているが使用していない
- 聞いたことはあるが、どんなものか知らない
- 知らない

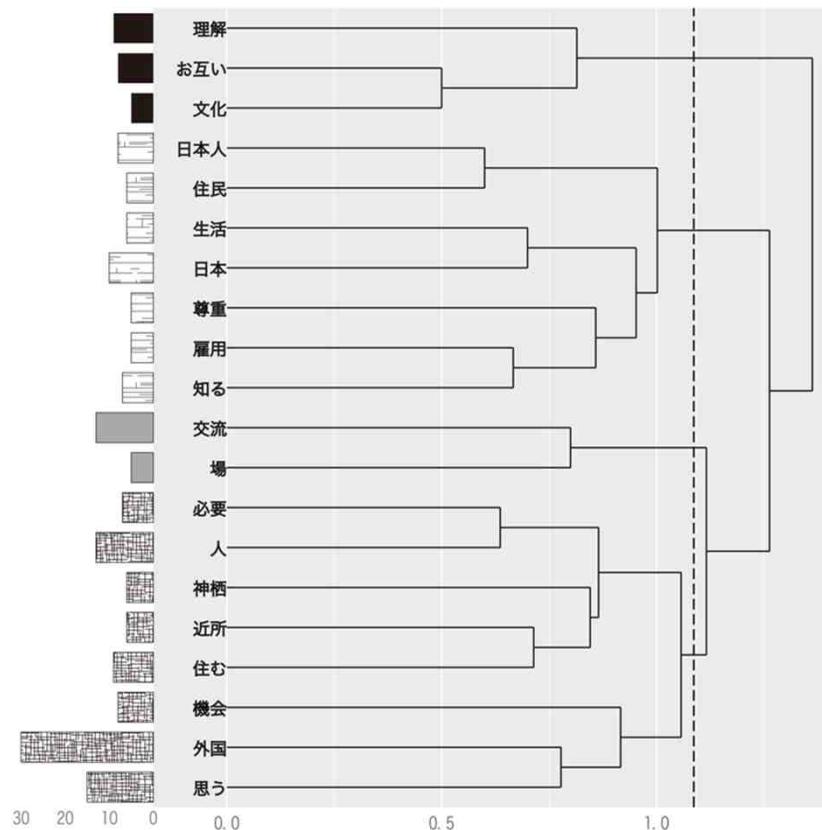
「やさしい日本語」を学ぶ機会があれば、参加したいですか。



- ①言語理解の必要性・課題、②文化理解の必要性・課題
 ③知り合う場の必要性・課題、④人間理解の必要性・課題
 ⑤制度の必要性・課題

自由記述で5回以上出現した語

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
外国	30	お互い	8	神栖	6
思う	15	機会	8	生活	6
交流	13	日本人	8	雇用	5
人	13	知る	7	場	5
日本	10	必要	7	尊重	5
住む	9	近所	6	文化	5
理解	9	住民	6	迷惑	5



クラスター1
「相互の文化理解」

クラスター2
「日本人住民の生活の尊重」

クラスター3
「交流の場」

クラスター4
「神栖に住む人同士の出会うの必要性」

神栖市の人同士が交流するような出会うの場の必要性は感じている一方で、日本での生活は尊重してほしいという気持ちも持っていることがわかる。これらが解消されることでお互いの文化を理解でき、より良い関係が築けていけると考えている。

調査 1、調査 2 の結果からの課題

- 「「やさしい日本語」の普及と日本語ボランティア人材確保」
- 「日本人住民と外国人住民が知り合う場の提供」

提案：

1. 「日本語ボランティア講師を生かした「やさしい日本語」の普及」
2. 「日本人住民と外国人住民が知り合う場を作り出すイベント」

「やさしい日本語」の取り組み

提案 1

「やさしい日本語」の普及と
日本語ボランティア人材の確保を目指す
持続可能な取り組み

やさしい
日本語

日本語
ボランティア

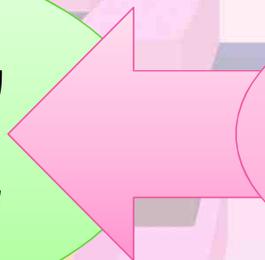
「やさしい日本語」の取り組み

提案 1

「やさしい日本語」の普及と
日本語ボランティア人材の確保を目指す
持続可能な取り組み

日本人市民
のみなさん

日本語
ボランティア



「やさしい日本語」の取り組み

取り組みの流れ

- (1) KIFAの日本語ボランティア講師の方に
研修を受けていただき
「神栖市やさしい日本語推進メンバー」に
なっていたく
- (2) 「神栖市やさしい日本語推進メンバー」による
「『やさしい日本語』講習会」を実施

やさしい日本語
の普及

日本語ボランティア活動
の紹介

「やさしい日本語」の取り組み

取り組みの流れ

- (1) KIFAの日本語ボランティア講師の方に
研修を受けていただき
「神栖市やさしい日本語推進メンバー」に
なっていたく
- (2) 「神栖市やさしい日本語推進メンバー」による
「『やさしい日本語』講習会」を実施

『神栖市やさしい日本語ブック』
を日本人市民のみなさん自身が
自分用にカスタマイズ！

「やさしい日本語」の取り組み

神栖市 やさしい日本語ブック

地区名



年 月

18年度 神栖市まちづくり推進事業受託研究
のための「やさしい日本語」意識調査と推進に向けた提案

『神栖市やさしい日本語ブック』

イベントの多層化

提案 2

多文化共生イベントの多層化

「日本人住民と外国人住民が知り合う場を作り出すイベント」

外国文化に興味がある人も
ない人も参加できる
イベントにするために
イベントを多層化

イベントの多層化

提案 2

多文化共生イベントの多層化

① 保護者交流会
子育てサロン

① 日常・情報伝達型

日常型

③ 日常・体験型

③ 料理教室
「やさしい日本語」講習
会

情報

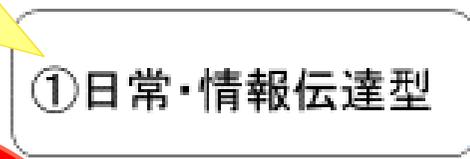
② 海外経験を
テーマにした講演会

② 非日常・情報伝達型

非日常型

④ 非日常・体験型

④ 外国文化体験会
スタンプラリー



イベントの多層化

提案 2

多文化共生イベントの多層化

④料理教室（非日常・体験型）

例 1) 「ペルーの家庭の味を体験！ペルー料理教室」



③料理教室（日常・体験型）

例 2) 「ひと手間であなたの肉料理がおいしくなる！
～ペルー料理からコツを学ぶ」

調査 1、調査 2 の結果からの課題

- 「「やさしい日本語」の普及と日本語ボランティア人材確保」
- 「日本人住民と外国人住民が知り合う場の提供」

提案：

1. 「日本語ボランティア講師を生かした「やさしい日本語」の普及」
2. 「日本人住民と外国人住民が知り合う場を作り出すイベント」

日本で生活する外国人にとって、
日本の生活はわからないことだらけ・・・

自分の知っている情報を提供して、
みんなが助け合っていたら、
きっと日本の社会はもっといいものになる
そんな持続可能な形(Sustainable Model)を作りたくて、
このアプリを制作しました

SuMoJapanは
**困っている人がいれば、
手をさしのべる**
そんなシンプルなアプリです

残念ながら、日本社会は外国人にとって優しい社会とはまだまだ言えません
でも、「Japanに住もう！」と思ってくれた時の気持ちを大切にしたいと思います
これまではいつ、どこで、誰が、どんなことで困っているのか、
見えにくかったかもしれませんが
でも、このアプリに集まって来る人たちはみんな困っています
「自分の情報が役に立つかな？」と躊躇しているなんて、もったいない
その情報を待っている人たちがたくさんいます
ぜひアプリをのぞいて、手をさしのべてください
そして時には、あなたが助けてもらってください
国籍、ジェンダー、年齢など、あらゆるバリアを飛び越えて、
困っている人がいれば、手をさしのべる
「今日も誰かが誰かを助けている」
そんな世界が続いていけばいいなと願っています



質問する
わからないことは、とにかく聞いてみよう
何語で質問してもOK（日本語の方が返答率は高いかも）
テキストで説明が難しいなら、音声や動画で質問
説明が難しいものは、写真で説明をサポート

質問に答える
困っている人がいたら、手をさしのべる
何語で答えてもOK
(相手の言語に合わせてくれると、なおよし)
わからなければ、誰かにシェアして聞いてみよう

回答を確認
誰かが答えてくれたら、通知が来るよ
言葉がわからない時は長押しで、翻訳ツールを利用
お礼の「いいね」やベストアンサーを決めよう
覚えておきたい質問はブックマーク

ポイントがたまる
アプリ内でいろいろなことをすると、
ポイントがたまるよ
ポイントをたくさんためるとランクアップ！
ランクは回答の信頼性の参考にしてみてね

筑波大学 The Center for Distance Learning of Japanese and Japanese Issues,
University of Tsukuba Center for Education of Global Communication (CEGLOC), University of Tsukuba
<http://www.intersc.tsukuba.ac.jp/~kyoten> @jp_kyoten

多文化共生サポートアプリ「SuMo Japan」(住もうJapan)

日本の文化や習慣に対する不安などを質問として投げかけ、
ユーザー同士で解決する質問掲示板アプリ

現在、Androidのみ（夏頃までにiOSも）



- 参考文献

庵功雄(2016)「日本語教育と日本語のわかりやすさ」野村雅昭・木村義之(編)『わかりやすい日本語』pp.153-164. くろしお出版

- 参考資料

神栖市国際化推進計画

<http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/9918.htm>

神栖市HP

<http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/1050.htm>

謝辞

本研究の遂行にあたり、多大なるご協力いただいた神栖市役所政策企画課の渡邊様、田山様ならびに神栖市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

